



10月
14・15日

国見伝統の祭りに歓声!!

ケベス祭り・流鍋馬^{やぶさめ}

10月14日(日)、起源や由来が不明な火祭り「ケベス祭り」(国選択無形民俗文化財)が国見町榎来の榎来社(岩倉八幡社)で行われました。

ケベス祭りは、奇妙な面を着け御神火に飛び込もうとする「ケベス」と火を守る白装束の「トウバ」とが争う火祭りで、この火の粉をかぶると1年間無病息災といわれています。祭りのクライマックスでは、トウバたちが火のついたシダの束を持って境内を駆け回りだすと、逃げ惑う観客の悲鳴があちこちから聞こえました。

10月15日(月)、国見町伊美の別宮社で、伝統行事「流鍋馬」(県選択無形民俗文化財)が行われました。五穀豊穡や家内安全を祈願する同社の秋季大祭行事で、江戸時代から行われています。3年前にも射手を務めた堀田夢里さんが今年の射手で、走る神馬の上からの的に向かって矢を放つと、歓声と拍手がわきおこりました。



全国から集結 むら芝居で活性化

10月
20日

10月20日(土)、全国各地に伝わるむら芝居の伝統を引き継ぐ団体が集う「第7回全国むら芝居サミット」がアストくにさきで行われ、兵庫や新潟県など県内外から6団体が出演して、歌舞伎や喜劇、時代劇などを上演しました。



国見歌舞伎保存会



英ちゃん劇団

市内からは、国見歌舞伎保存会が「寿 蝶千鳥 曾我物語 対面の場」を、英ちゃん劇団が「秘められた過去」を熱演して、会場を埋めた約600人の観客から大きな拍手が送られました。



(左から) 矢野代表、栗原校長、木田憲治おくすり研究会理事、河野勝彦理事

10月
22日

国東高校へ「おくすり文庫」

NPO法人おくすり研究会(矢野忠則代表)が、国東高校(栗原眞校長)へ薬に関する書籍55冊を贈りました。

これは、正しい薬の買い方や服用方法など、薬に関する教室を開催し、住民の健康や安全に貢献する同研究会が、10月17日からの「薬と健康の週間」にちなんだ取り組みとして贈ったものです。

10月22日(月)、同校で行われた贈呈式では、矢野代表が「生徒が薬や医学に興味を持ち、将来、医師や薬剤師、看護師などの医療系に進み、地元で活躍してほしい」とあいさつし、栗原校長に目録を手渡しました。